

農産局長賞

JAやさと有機栽培部会

所在地	茨城県石岡市
応募分野	人材育成
面積	75.7ha
構成員	33人
品目	小松菜、人参、長ネギ、きゅうり、レタス、かぶ、ほうれん草等

取組の紹介

有機農業・環境保全型農業に取り組んだきっかけ

- 生協と連携した野菜ボックスの宅配サービスの中で有機野菜を取り扱ったところ、消費者から好評を得たことをきっかけに、地域の有機農業の更なる拡大に向けて、1997年に有機栽培部会を設立。
- 有機野菜の需要に供給が追い付かない状況もあり、部会を拡大するために、1999年に有機農業専門の研修制度である「ゆめファームやさと」を開始。石岡市とも連携して、有機農業の人材育成に取り組む。



ゆめファーム卒業家族

人材の確保・育成に関する取組

- 研修生には、JAやさと及び石岡市から、ほ場やハウス、出荷調整の作業場、農作業に必要なトラクター、管理機等を貸与。研修生は、2年間の間、有機農業の栽培から販売までを自ら行う。
- 部会の経験豊かな先輩農家が研修生の技術指導を行うほか、研修生のメンターとして、生活面の相談など幅広く対応する。
- 研修生は、研修期間中に、石岡市、JAやさと、先輩農家等から農地を情報を集め、独立後のほ場を確保。これまで、研修生として35世帯を受け入れ、就農率は100%、定着率は88%(本コンクール受賞時点)。



ほ場巡回の様子

地域間での連携や取組の横展開に向けた取組

- 長年全国からの視察を受けており、令和6年度は18件の視察受け入れを行っている。また、近隣の有機農業に関する団体や協議会等との交流会を実施し、情報交換等を行っている。
- 子ども食堂やフードパントリーを実施している団体への食材提供活動を通して、地域支援や有機野菜の認知度の向上を行っている。



勉強会の様子

生産に関する取組

- 部会内で新たな栽培方法の確立等に向けた研究を行う農業者に対して必要な資材等の購入を支援し、成果を部会内で共有。
- JAやさと管内では畜産が盛んであり、牛、豚、鶏の糞をたい肥として活用。また、たい肥だけに頼らず、また、資材だけに頼らない多様な土づくりを推奨しており、部会内で土づくりの勉強会を開催している。



消費者との交流会

販売・消費に関する取組

- 生協各社と連携し、積極的に消費者との交流を実施。ほ場での交流やオンラインによる交流会、農業者の紹介カードの作成など、多様な形で全国の消費者への情報発信等を行っている。